

立小野小学校

バス運行はできないか

住宅需要の動向を
見ながら

住宅政策は
必要である

大変懸念されている。平成5年から、学校、地域が一体となり、学校存続に真剣に取り組み、特認校の指定をうけている。特認生の募集は、自力通学が条件となっているが、特認生の送迎が親にとつて、大変であるので、今後送迎バスなども考えられないか。

バス運行はできない

教育長

町長 この空き地は、昭和59年以降に老朽化した11戸の町営住宅を、解体処分した敷地が、空き地状況となったもので、当面今までどおり、公営住宅建設用地として、住宅需要の動向を見ながら行政財産として管理していく。

町長

野方を拠点に、鹿屋市や、都城市に勤務する者も多い。地域の活性化のためにも、住宅政策は、大変必要であると考え。若者が定住する環境を作ることには、きわめて大切なことと認識している。どのような形で、作っていくのかということ、住宅政策の観点から勉強させてもらいたい。

特認校・立小野小学校
の取り扱いについて

安藤議員

町営住宅の建設は
できないか

安藤議員 野方の町営住宅周辺の空地は、元々町営住宅があったところで、数十年放置されている。小学校にも隣接し、役場支所、中学校にも近い。この場所に、町営住宅建設の考えはないか。

安藤議員

立小野小学校は、百二十八年の歴史を誇り、由緒ある学校である。学校の存続は、地元・地区民にとつて

従来どおりで

町長

送迎バスの運行については、基本的な答弁は教育長と同じですが、このことは、非常に難しい問題であ

県内の他市町村の
特認校は、助成を
しているが

安藤議員

県内の特認校を調査したが、行政による助成をしている所もあるようだ。大崎町は、なぜできないのか。

教育長

それぞれの町により、教育委員会の考えが違ったり、条件が違ったりしている。本町においては、自力通学が可能なもの、という条件をはずした場合、他へ影響が出てくるのが考えられますので御理解いただきたい。

町道・集落道の清掃
を見直す考えは

安藤議員

町道・集落道の清掃作業が、高齢化に伴い厳しくなってきている。見直す考えはないか。

別枠で対応

町長

町道223路線・総延長約301キロメートルを管理しておりますが、毎年、百路線前後、約100キロメートルを、町内全土木業者に委託し、路肩や、のり面の清掃作業を実施しているところです。

町道全路線の清掃は、財政的にも無理があり、行き届かないため、従来から集落の方々に御理解と御協力のもと、清掃をお願いしています。集落の連帯感やコミュニケーションの場・美化活動の一端として、できる限りお願いしたい。

しかし、集落だけでは、厳しい面もあり、無理なお願ひもできませんので、別枠で対応していきたい。